

129 番の歌 決して負けない 最後まで

## 苦しいとき、ヨブ記が力になる

「神は絶対に悪を行いません」。ヨブ 34:12

ポイント：ヨブ記から、①つらいことが起きるのを神が止めないのはどうしてか、②苦しいときもどんなふうに忍耐できるかを学びます。

1-2. ヨブ記を読むとよいのはどうしてですか。

最近ヨブ記を読みましたか。約 3500 年前に書かれたヨブ記は、世界文学の最高傑作の 1 つとされています。シンプルながら美しい文体で、表現力豊かに大切なメッセージがつづられています。それで、ある参考文献はヨブ記の筆者を「まさに文学の天才である」と評しています。この素晴らしい本を書いたのはモーセですが、それを書かせたのはエホバです。（テモ二 3:16 聖書全体は神の聖なる力の導きによって書かれたもので、教え、戒め、矯正し、正しいことに基づいて指導するのに役立ちます。）

2 ヨブ記は聖書の中でも、要になる部分です。全ての天使と全ての人間に突き付けられた非常に重要な問題を明らかにしているからです。それはエホバの名前が神聖なものとされることです。また、愛、知恵、公正、力など、エホバの素晴らしいところも教えています。例えば、ヨブ記はエホバのことを 31 回「全能者」と呼んでいます。聖書のほかの書を合わせてもその数には及びません。このヨブ記は、多くの人の人生観にも影響を与えてきました。①つらいことが起きるのをどうして神が止めないのか、といった疑問の答えが見つかるからです。

3. ヨブ記を学ぶことにはほかにもどんなメリットがありますか。

3 山に登って見晴らしのいい場所に行くと視野が広がり、下の様子がよく見えるようになります。それと同じように、ヨブ記を読めば、人生の悩みについて高い視点から、つまりエホバの視点から見ることができるようになります。ヨブの物語は、②おそらく古代のイスラエル人にとってためになったはず。どのようにでしょう。現代の私たちはどんなことが学びますか。ヨブ記を使って③ほかの人をどのように助けられるでしょう。

### 神はヨブが苦しむままにした

4. ヨブは、エジプトにいたイスラエル人とどんなところが大きく違っていましたか。

4 イスラエル人がエジプトで奴隷だった頃、ウツの地方にヨブという男性がいました。ウツは約東の地より東側、アラビア北部にあっただと思われます。エジプトの偶像を崇拝するようになっていたイスラエル人とは全く違い、ヨブはエホバだけを崇拝していました。（ヨシュ 24:14 それで、エホバを畏れ、清い心で(\*非難されるところがない方法で/忠誠を尽くして)忠実に(\*真実をもって)仕えなさい。川(c\*ユーフラテス川のこと)の向こうやエジプトで父祖たちが仕えた神々を除

き去り、エホバに仕えなさい。[エゼ 20:8](#)ところが、彼らは私に反逆し、耳を傾けようとしなかった。目の前にある忌まわしい物を投げ捨てず、エジプトの汚らわしい偶像を捨て去らなかった。それで私は、彼らに激しい怒りを浴びせることにし、エジプトで彼らへの怒りを十分に表そうと考えた。) エホバはヨブについて「地上に彼のような人はほかにいない。神に忠誠を尽くす正直な人」だと言っています。\*ヨブが生きていたのは、信仰を貫いたヨセフが亡くなった紀元前 1657 年より後、モーセがイスラエルのリーダーとして選ばれた紀元前 1514 年ごろより前と思われます。エホバとサタンが話し、ヨブが試練に遭ったのもその時代のことのようにです。(ヨブ 1:8 エホバはサタンに言った。「私に仕えるヨブに注目したか。地上に彼のような人はほかにいない。神に忠誠を尽くす(\*非難されるところがない)正直な人で、神を畏れ、悪から離れている。\*)とても裕福で、周りから尊敬されていました。(ヨブ 1:3 所有していた家畜は、羊 7000 匹、ラクダ 3000 頭、牛 1000 頭(d\*500 対)、ロバ(d\*雌ロバ)500 頭で、召し使いも非常に大勢いた。ヨブは東方で最も裕福な人だった。) そういうよく知られた影響力のある人がエホバに誠実に仕えている様子を見て、サタンは激怒していたに違いありません。

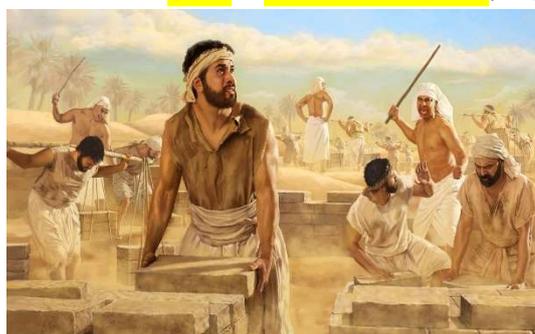
5. エホバはどうしてヨブが苦しむままにしましたか。(ヨブ 1:20-22; 2:9, 10)

5 サタンはヨブについてある主張をしました。ヨブは苦しい目に遭えばエホバに仕えるのをやめるというのです。(ヨブ 1:7-11 エホバはサタンに、「どこから来たのか」と尋ねた。サタンはエホバに答えた。「地上を巡り、歩き回ってきました」。8 エホバはサタンに言った。「私に仕えるヨブに注目したか。地上に彼のような人はほかにいない。神に忠誠を尽くす(\*非難されるところがない)正直な人で、神を畏れ、悪から離れている」。9 サタンはエホバに答えた。「ヨブは本当に純粋な気持ちで神を畏れているのでしょうか。10 彼も家族も全ての持ち物も、あなたが柵で囲んで守ったのではありませんか。あなたの祝福によって彼の仕事はうまく運び、家畜は非常に多くなりました。11 試しに、あなたの手を出して、彼の持つもの全てを破壊してください。彼はきっと面と向かってあなたを侮辱します」。:2:2-5 エホバはサタンに、「どこから来たのか」と尋ねた。サタンはエホバに答えた。「地上を巡り、歩き回ってきました」。3 エホバはサタンに言った。「私に仕えるヨブに注目したか。地上に彼のような人はほかにいない。神に忠誠を尽くす(\*非難されるところがない)正直な人で、神を畏れ、悪から離れている。今でも私に忠誠を尽くしている。あなたが私をけしかけ、不当にも彼を破滅させ(d\*のみ込ませ)ようとしているのに」。4 サタンはエホバに答えた。「誰でも自分の身が一番(d\*皮膚のためには皮膚)です。人は自分の命を守るために、自分が持つもの全てを差し出します。5 試しに、あなたの手を出して、彼の体に傷を負わせて(d\*骨と肉にまで触れて)ください。彼はきっと面と向かってあなたを侮辱します。\*) エホバはヨブをととても愛していましたが、サタンにその主張が正しいかどうかを証明させることにしました。(ヨブ 1:12-19 エホバはサタンに言った。「いいだろう、彼の持つもの全てをあなたの手に委ねよう。ただし、彼自身に手を出してはならない!」そこで、サタンはエホバの前から出ていった。13 さて、ヨブの息子や娘が長男の家で食事をし、ぶどう酒を飲んでいた日のこと、14 ある人がヨブの所に来て報告した。「牛が耕し、ロバが近くで草を食べていると、15 シバ人が襲ってきました。家畜は奪われ、召し使いたちは剣で殺されました。私だけが逃げ延びたので、知らせに参りました」。16 この人が話しているうちに、別の人が来て言った。「神の火(if\*稲妻)が天から下り、羊と召し使いたちを焼き尽くしました。私だけが逃げ延びたので、知らせに参りました」。17 この人が話しているうちに、別の人が来て言った。「カルデア人の3つの集団が襲ってきて、ラクダが奪われ、召し使いたちは剣で殺されました。私だけが逃げ延びたので、知らせに参りました」。18 この人が話しているうちに、さらに別の人が来て言っ

た。「息子さんや娘さんは、ご長男の家で食事やぶどう酒を召し上がっていました。19すると突然、荒野の方から激しい風が家の四隅に吹き付け、家が倒れ、お子さんたちは下敷きになって亡くなりました。私だけが逃げ延びたので、知らせに参りました」。:2:6-8 エホバはサタンに言った。「いいだろう、あなたの手に委ねよう。ただし、命を奪ってはならない！」そこで、サタンはエホバの前から出ていき、ヨブの体に、頭のとっぺんから足の裏まで、痛みの伴う腫れ物(\*ひどい潰瘍)を生じさせた。8 ヨブは土器のかけらを手に取って体をかき、灰の中に座っていた。) サタンはヨブの持っていたたくさんの家畜を奪い、ヨブの10人の子供たちを殺し、ヨブに頭のとっぺんから足の裏まで痛みを伴う腫れ物を生じさせました。でも、どれだけ痛めつけられてもヨブは信仰を捨てませんでした。(ヨブ 1:20-22 ヨブは立ち上がって衣服を引き裂き、髪を切り落とし、ひれ伏して、21 言った。「母から生まれた時は裸だった。だから裸で戻ろう。エホバが与え、エホバが取り去った。エホバの名が引き続き賛美されますように」。22 こうしたことがあっても、ヨブは罪を犯さず、神を非難(\*神のせいには)しなかった。:2:9, 10 ヨブの妻はヨブに言った。「こうなってもまだ神に忠誠を尽くそうとするの？ 神を侮辱して死んでしまいなさい！」10 しかし、ヨブは妻に言った。「まるで愚かな女性が話しているみたいだ。私たちは真の神から良いことだけを受けて、悪いことは受けないのだろうか」。この一連の出来事の中で、ヨブは言葉(d\*唇)で罪を犯すことがなかった。(を読む。) エホバは、ヨブが試練に耐えた後、元通り健康で裕福になり、周りから尊敬されるようにしました。子供たちもさらに10人与えました。ヨブはエホバが寿命を延ばしてくれたので、その後140年生き、4世代先の子孫が幸せに暮らすのを見ることもできました。(ヨブ 42:10-13 ヨブが友人たちのために祈った後、エホバはヨブの苦難を取り去り、再び豊かな生活を送らせた(d\*エホバは捕らわれていたヨブを戻した)。エホバは、ヨブが以前に持っていた物を、2倍にして与えた。11 ヨブの兄弟姉妹やかつての友人が皆やって来て、ヨブの家で一緒に食事をした。皆は、エホバがヨブの身に生じるままにしたさまざまな災難のことで、同情して慰めた。一人一人がヨブに、お金と金の輪1つを贈った。12 エホバがヨブを祝福したので、ヨブの残りの人生は以前よりも豊かになった。ヨブは、羊1万4000匹、ラクダ6000頭、牛1000対、雌ロバ1000頭を持つようになった。13 さらに、息子7人と娘3人を持つようになった。、16 こうしてヨブはさらに140年生き、自分の子供と孫、4世代を見た。) ヨブのこの物語はおそらく、古代イスラエル人にとってためになったはず。どのようにでしょうか。現代の私たちにとってはどうでしょうか。

6. もしイスラエル人がヨブの物語を知っていたなら、それはどのように役立ったと思いますか。(挿絵も参照。)

6 **イスラエル人にとってどのようにためになったか。** エジプトにいたイスラエル人は大変な生活を送っていました。例えば、**ヨシュア**と**カレブ**について考えてみましょう。**若い時、奴隷**として生活し、**自分たちに非はないのに40年間荒野をさまよいました。**当時のイスラエル人は、苦労した**ヨブが幸せな結末を迎えたこと**を知っていたのでしょうか。**知っていたとすれば、当時のイスラエル人も後代のイスラエル人も、**①**つらいことが起きる本当の原因、**②**人間が苦しい目に遭うのをエホバが止めない理由、**③**忠誠を貫く人をエホバがどれほど大切に思っているか**などが**分かったはず**です。



イスラエル人はエジプトで奴隷として苦しんだ。後にヨブの物語を知ったとすれば、いろんなことを学べたはず。(6節を参照)

7-8. ヨブ記を読むとどんなことが分かりますか。そのことはつらい目に遭っている人にとってどう役立ちますか。

7 私たちにとってどのようにためになるか。今ほとんどの人は、善良な人に悪いことが降り掛かる理由を理解していません。そのせいで神を信じられなくなっています。ルワンダのヘイゼル\*一部の名前は変えてあります。のことを考えてみましょう。ヘイゼルは小さい頃から神を信じていました。そんなヘイゼルに、次々つらい出来事が降り掛かります。両親が離婚した後、血のつながっていない父親にとてもひどいことをされました。また、10代の時にレイプされました。心の安らぎを求めて宗教の集まりに行ったこともありましたが、気持ちは満たされませんでした。ヘイゼルは神様に宛ててこんな手紙を書きました。「神様、あなたに祈って、良いことをしようと頑張ってきました。なのに、どうして私をひどい目に遭わせるんですか。もうあなたのことを考えるのはやめて、これからは好きなように生きていきたいと思います」。ヘイゼルのようにつらいことが起きるのを神のせいだと考えている人を見ると、私たちは悲しくなります。

8 でもヨブ記を読むと、私たちがつらい思いをするのは神のせいではなく、サタンのせいであることが分かります。それで、苦しい目に遭っている人を見て、「身から出たさびだ」などと考えるべきではありません。聖書によれば、「思いも寄らないことがいつ誰にでも起き」ます。(伝 9:11 私はこの地上で次のことも知るようになった。足の速い人がいつも競走に勝つわけでも、強い人が戦いに勝つわけでもない。また、賢い人がいつも食事にありつけるとは限らない。知的な人が裕福になるとも、知識がある人が成功するとも限らない。なぜなら、思いも寄らないことがいつ誰にでも起きるからだ。ヨブ 4:1 テマン人エリパズがそれを聞いて言った。、8 私が知る限り、有害なことを植える(\*たくらむ)人や、面倒なことをまく人は、植えてまいたものを刈り取る。) 私たちが苦しいときもエホバを愛して忍耐するなら、エホバはあざけてくるサタンに答えることができます。エホバの名誉が守られることにもなります。(ヨブ 2:3 エホバはサタンに言った。「私に仕えるヨブに注目したか。地上に彼のような人はほかにいない。神に忠誠を尽くす(\*非難されるところがない)正直な人で、神を畏れ、悪から離れている。今でも私に忠誠を尽くしている。あなたが私をけしかけ、不当にも彼を破滅させ(d\*のみ込ませ)ようとしているのに」。格 27:11 わが子よ、賢くあって、私の心を喜ばせよ。私をあざける(\*に挑む)者に私が答えるためである。) 私たちは、自分や愛する人が苦しむ本当の理由を知っています。そのことを理解できているのは決して当たり前ではありません。先ほどのヘイゼルは、エホバの証人と聖書を勉強し、つらいことが起きるのは神のせいではないということが分かりました。こう言っています。「神に心からもう一度祈りました。あなたのことを考えるのはやめますと言いましたが、本当はそうしたくはなかったと伝えました。結局、神のことをよく知らなかっただけなんです。今ではエホバが私を愛してくれていることがよく分かります。本当に幸せで満ち足りた気持ちです」。確かに、神がつらいことが起きるのを止めない理由を知っているのはありがたいことです。次に、苦しい事態に耐えないといけないときに、ヨブ記からどんなふうに力をもらえるか考えましょう。

## ヨブ記を読んで、忍耐する力をもらう

9. 灰の中に座っていたヨブはどんな様子だったと思いますか。(ヤコブ 5:11)

9 体中に腫れ物ができたヨブが 1人灰の中に座り、痛みにもだえているところを想像してみてください。病気のせいで肌が黒ずみ、やせこけた体から皮膚がはがれていきます。すっかり力を失い、できることといえば土器のかけらで体をかくだけです。ヨブの発する言葉からは苦しみがに

じみ出ています。でも、この時のヨブはただ生きていたのではありません。必死に闘い、忍耐していました。(ヤコブ 5:11 私たちは、忍耐した人は幸せである(\*祝福されている)と考えます。皆さんはヨブの忍耐について聞き、ヨブがエホバ(\*)のおかげでどんな結末を迎えたかを知っています。エホバ(\*)は優しい愛情(\*思いやり)にあふれ、憐れみ深い方なのです。を読む。) ヨブがそうできたのはどうしてでしょうか。

10. ヨブがエホバに気持ちをさらけ出したことから、ヨブとエホバの関係についてどんなことが分かりますか。

10 ヨブは自分の気持ちをありのままにエホバにさらけ出しました。(ヨブ 10:1, 2 私は自分の命に嫌気が差す。不満を述べ、ひどい苦しみのままに語る。2 神に申し上げよう。『私に有罪を宣告しないでください。なぜ私と争っているのか教えてください。:16:20 友人が私をあざける。私は涙を流して(if\*眠らずに)神を見る。)) 例えば 3章では、ヨブが自分の身に降り掛かった悲劇に深く心を痛め、不満をこぼしています。苦しんでいるのはエホバのせいだという考え違いをしていました。また、3人の友人とのやりとりの中で、自分は間違ったことはしていない、苦しい目に遭うのはエホバのせいだと言ってしまいました。その時のヨブは、自分は神よりも正しいと思いついていました。(ヨブ 10:1-3 私は自分の命に嫌気が差す。不満を述べ、ひどい苦しみのままに語る。2 神に申し上げよう。『私に有罪を宣告しないでください。なぜ私と争っているのか教えてください。3 ご自分の手で造った人を退け、虐げるのは、何かあなたのためになるのでしょうか。悪人の助言に好意を示しておきながら。:32:1, 23 人はヨブに話すのをやめた。ヨブが自分は正しいと確信していたからである。2 さて、ラムの氏族のブズの子孫、バラクエルの子エリフは怒りに燃えた。なぜなら、ヨブが神の正しさよりも自分の正しさを証明しようとしたからだ。:35:1, 2 エリフは続けた。2 「あなたは『私は神よりも正しい』と言いました。それほどまでに自分が正しいと確信しているのですか。)) そうやって自分の正しさを主張するあまり、「言葉が過ぎ」てしまいました。ヨブ自身もそのことを認めています。(ヨブ 6:3 今それは海の砂よりも重い。だから私は言葉が過ぎたのだ(\*軽率に話してしまった)。, 26 絶望した人の言葉は、風に吹き飛ばされるようなもの。それなのに私の言葉を戒めようとたくらむのか。) 31章では、神に自分の潔白を認めてほしいと訴えています。(ヨブ 31:35 誰かが聞いてくれればよいのに！ 私は自分が言ったことに署名しよう(\*これが私の署名だ)。全能者が答えてくださればよいのに！ 私を訴える方(\*私を訴える人)が訴状を書いていければよいのに！) でも、自分が苦しんでいる理由をヨブが神に問いただしたのは間違っていました。

11. 忠誠を尽くしてきたと主張するヨブにエホバはどんなことをしましたか。

11 ヨブがそんなふうにエホバに訴えたのは、エホバを深く愛していて、エホバが自分の忠誠心を分かってくれていると信じていたからです。最終的にエホバは暴風の中からヨブに語り掛けましたが、ヨブが苦しんでいる理由を詳しく説明したりはしませんでした。また、ヨブが不平不満をこぼしたことや身の潔白を必死で主張したことを非難したりもしませんでした。むしろ優しい父親が息子を教えるようにヨブの考えを正しました。その時のヨブにぴったりの教え方でした。そのおかげで、ヨブは自分がいかに何も分かっていないかを謙虚に認めることができ、軽率な発言をしてしまったことを後悔しました。(ヨブ 31:6 神に、正確なはかりで私を評価していただきたい。神は私の忠誠心を知ってください。:40:4, 5 「ご覧ください、私は取るに足りない者です。何とお答えしましょう。手で口を押さえるしかありません。5 1度、いえ2度話しましたが、もう話しません。何も言いません」。:42:1-6 ヨブはそれを聞いてエホバに言った。2 「私は今分か

りました。あなたは何でも行うことができる方です。あなたが行おうとすることで、あなたに不可能なことはありません。3あなたはこうおっしゃいました。『知らないのに、私の考えを覆い隠しているのは誰か』。私は話しましたが、分かっていませんでした。あまりにも素晴らしい事実を理解していませんでした。4こうもおっしゃいました。『どうか聞いてほしい。私が話そう。あなたに質問しよう。あなたは私に答えなさい』。5あなたのことを耳で聞いてはいましたが、今ではあなたをこの目で見ております。6それで、言ったことを撤回し、後悔して土と灰をかぶります。')では、この記録は古代のイスラエル人にとってどのようにためになったのでしょうか。私たちはどんなことを学べるのでしょうか。

12. イスラエル人にとって、ヨブの物語はどのようにためになったはずですか。

12 **イスラエル人にとってどのようにためになったか。** イスラエル人はヨブの経験したことから多くのことを学べたはずですが。例えば、モーセにとってはどうだったのでしょうか。モーセはイスラエル国民のリーダーとして、苦しいことや心が折れそうな状況に何度も耐えなければいけませんでした。エホバに繰り返し不平不満をぶちまけたイスラエル国民とは全く違い、モーセはエホバに心配事を打ち明けました。(出 16:6-8 モーセとアロンはイスラエル人全員に言った。「夕方、エジプトから連れ出してくださったのがエホバであることが必ず分かります。7朝、エホバの栄光を見ることとなります。皆さんは私たちに対して不満を口にしていますが、私たちが何者だというのでしょうか。エホバは、その不満をご自分に対するものとして聞きました」。8モーセはさらに言った。「エホバが夕方に肉を、朝にパンを与えて満足するまで食べさせてくださる時、皆さんは、口にしている不満をエホバが聞いたということが分かります。私たちが何者だというのでしょうか。皆さんの不満は、私たちではなくエホバに対するものなのです」。民 11:10-14 モーセは、民がどの家族も、それぞれ自分の天幕の入り口で泣いているのを聞いた。エホバは非常に怒り、モーセも不快に思った。11モーセはエホバに言った。「どうして私を苦しめるのですか。どうして私はあなたの好意を得られず、この民全てを重荷として負わされているのでしょうか。12私がこの民全てを身ごもったのでしょうか。彼らを産んだのは私でしょうか。それであなたは私に、父祖たちに誓った土地に連れていくため、『子守が赤ん坊を抱くように彼らを懐に入れて抱きなさい』とおっしゃるのですか。13この民全てに与える肉がどこで手に入るのでしょうか。民は私の前で泣き続け、『肉を食べさせてくれ』と言っているのです。14私独りで、この民全てを負うことはできません。私には無理です。:14:1-4 民全員が声を上げ、夜通し大声で泣き続けた。2イスラエル人は皆モーセとアロンに対して不満を口にし始め、民全体がこう言った。「私たちはエジプトで死んでいればよかった。あるいは、この荒野で死んでいればよかった。3どうしてエホバは私たちをこの土地に連れてきて、剣によって倒れるようにするのか。妻や子供たちも連れ去られてしまう。エジプトに戻った方がよいのではないか」。4民は、「指導者を立ててエジプトに戻ろう」と言い合うまでになった。:11 エホバはモーセに言った。「この民はいつまで私に不敬な振る舞いをするのか。私が彼らの間で行った全ての奇跡(d\*しるし)を見ながら、いつまで私に信仰を持たないのか。:16:41 その次の日、イスラエル人の民全体がモーセとアロンに対して不満を口にし始め、「あなたたちはエホバの民を死なせた」と言った。:49 この神罰で死んだ人は1万4700人で、ほかにコラの件で死んだ人たちがいた。:17:5 私が選ぶ人のつえから芽が出る。こうして私は、イスラエル人が私に対して、またあなたたちに対して口にしている不満を静める。') **モーセは失敗して正される** という経験もしました。例えば、イスラエル人が荒野をさまよい始めて40年がたった頃、カデシュで宿営を張った時、モーセは「**軽率な発言**をし」エホバの名前をたたえませんでした。(詩 106:32, 33 父祖たちはメリバ(m\*言い争い)の水の

所で神を怒らせ、モーセは彼らのせいで災いに遭った。33 彼らが感情を刺激したので、モーセは軽率な発言をした。) そのせいで、モーセは約束の地に入れませんでした。(申 32:50-52 あなたは、これから登るその山で死に、先祖たちと共に横たわる。兄のアロンがホル山で死んで先祖たちと共に横たわったように。51 2人とも、チンの荒野にあるカデシュのメリバの水の所で、イスラエル人の間で私に不忠実だったからだ。イスラエルの民の前で私を神聖なものとしなかったのだ。52 あなたは、私がイスラエルの民に与える土地を遠くから見るが、そこに入ることはない。) モーセはつらく感じたはずですが、矯正を謙虚に受け入れました。モーセより後の時代のイスラエル人たちも、ヨブの物語から、つらい中でも頑張っていく力をもらえたはずです。①エホバに自分の気持ちを洗いざらい伝えてもいいこと、また②自分を正当化してはいけない、ということを学んだことでしょう。③エホバからの矯正を謙虚に受け入れることの大切さも理解できたはずです。

13. 私たちが忍耐する上でヨブ記はどのように役立ちますか。(ヘブライ 10:36)

13 私たちにとってどのようにたすけになるか。クリスチャンには忍耐が必要です。(ヘブライ 10:36 皆さんには忍耐が必要です。神の望むことを行った後、約束されたものを受け取るためです。を読む。) みんな、いろいろな問題を抱えています。体や心の病気、家族のこと、愛する人との死別などがあります。ほかの人が言ったことやしたことせいで、余計につらい思いをすることもあります。(格 12:18 心ない(\*軽率な)発言は剣のように突き刺し、賢い人たちの舌は人を癒やす。) ヨブ記を読むと、①エホバには本音を包み隠さず伝えられること、②そういう祈りをエホバは必ず聞いてくれることが分かります。(ヨハ 5:14 私たちは神について次の確信を持っています(\*私たちは気後れせずに神に語り掛けることができます)。神は、私たちが神の意志に沿って願い求めることは何でも聞いてくださるのです。) そうやって祈っているうちに、ヨブのように「言葉が過ぎ」てしまうとしても、エホバは責めたりしません。むしろ、私たちが耐えられるように力や知恵を与えてくれます。(代二 16:9 エホバは、心の全てがご自分に向いている人の力(\*支え)になろうとして、世界中に目を行き届かせています。今回の件であなたは愚かなことをしました。これからあなたに対する戦争があります」。ヤコ 1:5 皆さんの中に知恵の欠けた人がいるなら、その人は神に求め続けてください。神はとがめたり(\*あら探しをしたり)せず、全ての人に惜しみなく与えてくださるからです。求め続ければ与えられます。) ヨブに対してしたように、私たちが優しく正してくれることもあります。聖書や長老たちや友達などを通して、アドバイスや矯正を与えてくれます。そんなときも、諦めずに頑張っていくためにヨブ記が役立ちます。(ヘブ 12:5-7 そして、皆さんに子と呼び掛けている次の言葉をすっかり忘れてしまっています。「わが子よ、エホバ(\*)からの矯正を軽く見てはならない。神に正されるとき、諦めてはならない。6 エホバ(\*)は愛する人を矯正するからだ。ご自分が子として迎え入れる人を皆むち打つ(\*罰する)のである」。7 皆さんは矯正(\*訓練)の一環として忍耐する必要があります。神は皆さんを子として扱っています。父親から矯正を受けない子がいるのでしょうか。) ヨブは正されたとき素直に受け止め、大切なことを学びました。私たちも矯正されるとき、つらくても謙虚に受け止めるようにしましょう。それは自分のためになります。(コリ二 13:11 最後に、兄弟たち、これからも喜び、正され、慰められ、同じ考え方をし、平和に生活してください。そうすれば、愛と平和の神が共にいてくださいます。) 次に、ヨブ記を使ってほかの人をどのように助けられるか考えてみましょう。

ヨブ記を使ってほかの人を助ける

14. 人が苦しい目に遭うのはどうしてか疑問に感じている人にどんな説明ができますか。

14 伝道で、人はどうして苦しい目に遭うのかと疑問に感じている人に会ったことがありますか。どんなふうにその疑問に答えましたか。聖書から次のように説明したことでしょう。エデンの園で、サタンという邪悪な天使が最初の人間の夫婦にうそをつき、神に反逆するよう仕向けました。(創3:1-6 さて、エホバ神が造った野生動物の中で蛇が最も用心深かった(\*利口だった)。蛇が女に言った。「あなたたちは庭園の全ての木の実を食べてはならない、と神が言ったのは本当ですか」。2 女は蛇に言った。「私たちは庭園の木の実を食べてよいのです。3 でも、庭園の真ん中にある木の実について、神は、『食べてはならない。触れてもならない。食べたり触れたりするなら死ぬ』と言いました」。4 蛇は女に言った。「あなたたちは決して死にません。5 その木の実を食べた日に、目が開かれ、あなたたちが神のようになって善悪を知るようになることを神は知っているのです」。6 そこで女がその木を見ると、おいしそうな実が付いていて、魅力的な美しい木に見えた。それで女はその木の実を取って食べ始めた。その後、一緒にいた時に夫にも渡した。夫もそれを食べ始めた。) アダムとエバが反逆した結果、人は苦しんで死ぬようになりました。(ロマ5:12 このような訳で、1人の人によって人類に罪が入り、罪によって死が入り、こうして、全ての人が罪人になったために、死が全ての人に広がったように—。) 神は、サタンの主張が間違っていることを証明するために時間を置くことにしました。そしてその時間を使って、人間がまた完全になれるという良い知らせが広まるようにしています。(啓21:3, 4 その時、王座から大きな声がした。「見なさい！ 神の天幕が人々と共にあり、神は人々と共に住み、人々は神の民となります。神が人々と共にいるようになるのです。4 神は人々の目から全ての涙を拭い去ります。もはや死はなくなり、悲しみも嘆きも苦痛もなくなります。以前のものは過ぎ去ったのです。)

15. 人が苦しい目に遭うのはどうしてか疑問に感じている人に、ヨブ記からはどんなふうに説明できますか。(写真も参照。)

15 ヨブ記を使って説明するのも一つの方法です。まず、「いい質問ですね」と言えます。次に、聖書に出てくるヨブという誠実な人も、苦しい目に遭った時同じように感じた、と話せます。ヨブは神のせいで苦しんでいるとまで思っていました。(ヨブ7:17-21 死にゆく人間が何者なので、あなたは気に掛けるのですか。注意を払うのですか。18 なぜ毎朝詳しく調べ、いつも試すのですか。19 私から視線をそらさないのですか。私を放っておかないのですか。唾をのみ込む時間さえ与えないのですか。20 人間を見ている方よ、私が罪を犯したとしても、あなたに何の害が及ぶでしょうか。どうして私を標的にするのですか。私はあなたにとって重荷となりましたか。21 どうして私の違反を許さず、私の過ちを見過ごしてくださらないのですか。私はもうすぐ横たわり、土に戻ります。あなたが捜す時、私はいません。)

ここまで話すと、相手は自分と同じ疑問を持つ人が昔からいたと知って、安心するかもしれません。その後、ヨブが災難に遭ったのは神のせいではなく、悪魔のせいだったということを説明できます。悪魔は、人間が神に仕えるのは自分にメリットがあるからにすぎない、と主張していました。それから、こういうことも話せます。神がヨブをつらい目に遭わせたわけではありませんが、ヨブが苦しむままにしたのは人間のことをとても信頼していたからです。神を心から愛する人たちはサタンの主張が間違いだと証明できる、と信じていました。さらに、苦しくてもエホバから離れなかったヨブをエホバは豊かに報いました。こんなふうに話して、つらい目に遭うのは神のせいではないと説明すれば、きっと安心してもらえます。



ヨブ記を使って、「神は絶対に悪を行わ」ないということを説明できる。

(15 節を参照)

16. つらい思いをしている人もヨブ記から力をもらえます。どんな例がありますか。

16 **マリオ**という男性は、**ヨブ記に救われました**。2021 年のある日、**電話で伝道していた姉妹**がマリオのところに**電話をかけました**。姉妹はマリオに**聖句をシェア**し、**神が祈りを聞いてくれるだけでなく、素晴らしい将来を約束**している、ということを教えました。**どう思うか尋ねられたマリオは、実は今遺書を書いていたところだった**、と言いました。そして、こう言いました。「**神を信じているんだけど、今朝、もう神にも見放されたんじゃないか**とと思ってました」。2 度目の電話の時に、姉妹は**ヨブがつらい目に遭ったこと**について話しました。それを聞いた**マリオがヨブ記を読みたい**と言ったので、姉妹は「新世界訳聖書」の**リンクを送ってあげました**。どうなったでしょうか。**マリオは喜んで聖書レッスンを始め、自分のことを気に掛けてくれている愛情深い神について学ぶようになり**ました。

17. エホバがヨブの物語を聖書に記録してくれたことに感謝できます。どうしてですか。 (ヨブ 34:12)

17 確かに**聖書には大きな力**があります。**苦しんでいる人も聖書を読むと慰められます**。(ヘブ 4:12 **神の言葉は生きていて、力を及ぼし、どんな両刃の剣よりも鋭く、人の外面(c\*ギ語プシュケー)と内面(c\*ギ語プネウマ)、骨(d\*関節)と骨髄を分けるほど深く刺し通して、心の中にある考えや願いを明らかにすることができます。**) エホバが**ヨブの物語を聖書に記録**してくれたことに私たちは**深く感謝**しています。(ヨブ 19:23, 24 **私の言葉が書かれたらよいのに！書き記されたらよいのに！** 24 **鉄の筆記具(\*尖筆)と鉛で、永久に岩に彫り込まれたらよいのに！**) ヨブ記を読むと、①「**神は絶対に悪を行わ**」ないという**確信が持**てます。(ヨブ 34:12 **神は絶対に悪を行わず、全能者は絶対に公正を曲げません。**を読む。) また、②**つらいことが起きるのを神が止めない理由**や、③**苦しいときもどんなふうに忍耐できるか**を学べます。④ヨブ記を使って、**今苦しんでいる人を助ける**こともできます。**次の記事**では、**ヨブ記からどうすれば上手にアドバイスができるか**を考えます。

## 何を学びましたか

1. **エホバがヨブを苦しむままにした理由を知るの**は**どうして大切**ですか。

・S08 私たちが**つらい思いをする**のは**神のせいではなく、サタンのせい**であることが分かる。私たちが**苦しいときもエホバを愛して忍耐**するなら、**エホバはあざけってくるサタンに答える**ことができ、**エホバの名誉が守られる**。

**エホバが自分を愛してくれていることがよく分かり、本当に幸せで満ち足りた気持ち**になれる。

## 2. ヨブ記を読むと、苦しくても忍耐する力を持てるのはどうしてですか。

・S13 ヨブ記を読むと、①エホバには本音を包み隠さず伝えられること、②そういう祈りをエホバは必ず聞いてくれることが分かる。

たとえ祈っているうちに、ヨブのように「言葉が過ぎ」てしまうとしても、エホバは責めたりせず、むしろ、私たちが耐えられるように力や知恵を与えてくださる。

ヨブに対してしたように、私たちが優しく正してくれることもある。聖書や長老たちや友達などを通して、アドバイスや矯正を与えてくれる。ヨブは正されたとき素直に受け止め、大切なことを学んだ。私たちが矯正される時、つらくても謙虚に受け止めるなら益をうけられる。

## 3. ヨブ記を使ってほかの人をどんなふうに助けられますか。

・S15 人はどうして苦しい目に遭うのかと疑問に感じている人に、聖書に出てくるヨブという誠実な人も、苦しい目に遭った時同じように感じ、ヨブは神のせいで苦しんでいるとまで思っていた、と話せる。その後、ヨブが災難に遭ったのは神のせいではなく、人間が神に仕えるのは自分にメリットがあるからにすぎないと主張した悪魔のせいだったということを説明できる。

神がヨブをつらい目に遭わせたわけではないが、ヨブが苦しむままにしたのは人間のことをとても信頼していたから。神を心から愛する人たちはサタンの主張が間違いだと証明できる、と信じていた。

さらに、苦しくてもエホバから離れなかったヨブをエホバは豊かに報いたことを伝える。

## 156 番の歌 信仰を抱いて

△ ヨブが生きていたのは、信仰を貫いたヨセフが亡くなった紀元前 1657 年より後、モーセがイスラエルのリーダーとして選ばれた紀元前 1514 年ごろより前と思われます。エホバとサタンが話し、ヨブが試練に遭ったのもその時代のことのようにです。

△ 一部の名前は変えてあります。

△ (ヨブ 34:12) 神は絶対に悪を行わず、全能者は絶対に公正を曲げません。

△ (テモニ 3:16) 聖書全体は神の聖なる力\*の導きによって書かれたもので、教え、戒め、矯正し、正しいことに基づいて指導するのに役立ちます。

用語集参照。

△ (ヨシュ 24:14) それで、エホバを畏れ、清い心で\*忠実に\*仕えなさい。川\*の向こうやエジプトで父祖たちが仕えた神々を除き去り、エホバに仕えなさい。

または、「非難されるところがない方法で」、「忠誠を尽くして」。

または、「真実をもって」。

ユーフラテス川のこと。